

「教育実習の手引き」改訂のための基礎的研究
— 小学校版「教育実習の手引き」改訂のための基礎的研究 —

1. プロジェクトメンバー

- 石野 正彦 教授
- 竹田 充 研究員（上越市立春日小学校教頭）
- 山川 晃 研究員（上越市立南川小学校教頭）
- 宮澤 忠明 研究員（妙高市立新井中央小学校教頭）
- 中野 博幸 特任准教授
- 清水 雅之 特任准教授

2. 研究の目的

新学習指導要領改訂に合わせて「教育実習の手引き」を改訂する時期にあたっている。ここ数年の教育改革に合わせて教育実習の質保証も重要な課題となり毎年改善を重ねて来ており、上越スタンダードならびにルーブリックが構築された。このような内容を含めた新しい「教育実習の手引き」を作成するにあたり、改訂のための基礎的な研究を行う。

また、上越スタンダードならびにルーブリックに基づく教育実地研究で活用するデジタルポートフォリオを構築し、学生及び大学院生の質保障のツールとして活用するための基礎的研究を行う。

3. 研究の概要

（1）ヒアリング

初等教育実習の前と後に研究員に対してヒアリングを行った。ヒアリングの項目は以下の通りである。

- ・ 教育実地研究の状況について
- ・ 小研、大研、終日実習について
- ・ 授業実習時間について
- ・ 第一週に代表者による授業実習について
- ・ その他

（2）調査研究

学生に対してデジタルポートフォリオの導入が進められている富山大学に調査を行い、上越教育大学での導入についての資料を収集する。

4. ヒアリングのまとめ

- ・ 他大学の学生（4週間）と並行して実施したが、分離方式のよさが目立った。担当者が見通しをもって指導する事ができた。
- ・ 昔と変わったところは、コンピュータで作成するのでダウンロードしたり、他の指導案をコピーしたり、オリジナリティに乏しいものが多い。指導案に悩む時間が少なく、内容も貧弱になったように感ずる。
- ・ 実習期間が休みなどで途切れることが多い、時期の検討は必要でないか。
- ・ 免許プログラムで教員免許を所持している院生は既に教育実習を経験しているわけだが、

学部学生で積み上げてきたものがなく、希薄な面が見られる。実習にイメージがもてないのではと感ずる。ルーブリックのない大学から来ているのだからそういう学生への指導が今後必要である。

- ・ USB メモリーなどにデータを入れてきて、いつも学校で指導案をプリントしている。現場では個人の USB メモリーの学校での使用を禁止している。学校に届いたメールで、誰から誰にあてたメールなのか分からないものもある。情報モラルや情報セキュリティの事前指導が必要である。

- ・ 小研や大研について、同じ仲間の授業を見るのはたいへん良いことだ。1日実習以外で8時間を確保すべきである。1日実習は実習としてカウントに入れない方がいい。小研や大研でめりはりをつければいい。他の学年の授業を見るいい機会だ。

- ・ 小学校は教科数が多い。全教科をもつ機会を大事にしたい。小研は必要だ、大研でなくていい。

- ・ 最初の週にTTで入ってもいいと思う。

- ・ 自分の考えを試してみることが重要。何年生のなんという教材があっているのか、決まっている。どれもこれも同じ指導案が出てくる。オリジナルが欲しい。何も無いところから授業を考えるのは難しい。参考にするのがかまわないと思う。しかし、そのまま使うのは人間性の問題と感ずる。また、手引きに参考で使っている指導案はレベルが高すぎ、参考にならない。

- ・ 校内で学校経営の話などをするが、その指導資料が入っているといい。グランドデザインの見方とか年間指導計画とかが欲しい。

- ・ 学生の指導案に予想される児童の反応の記載が少ない。学校で指導しているが、大学で事前に指導して欲しい。指導案の例も同様をお願いしたい。

- ・ 観察実習後、本実習後の実習日誌および実習記録を何日以内に誰に提出し、その後学生が直接受け取り大学の指導教官に提出する（実習後何日以内に）どういう流れか明記してほしい。

5 調査研究のまとめ

12 / 14 (月) ~ 15 (火)

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センターにおいて、システムの運用担当者からデジタルポートフォリオのシステムの実地見聞を行い。富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター長より、教育実習の概要とデジタルポートフォリオについて協議し、以下のような知見を得た。

- ・ 学生や院生の質保証にはデジタルポートフォリオの活用は有効なツールである。
- ・ システムの導入については、全学体制で調整する必要がある。学内の教員の意識の統一がないとその効果がきわめて低くなる。
- ・ 学生や院生が在学時だけでなく、その後のキャリアの中でふりかえることができるポートフォリオを構築すべきである。
- ・ 大きなシステムを学内で導入することと google などの既存のクラウドシステムを有効に活用することのメリット・デメリットを考える必要がある。
- ・ 導入は早期に行う事が望ましい。